

交通安全の取組

町では、杉戸地区交通安全協会などと連携して、町内各所で、年4回交通安全を呼びかける街頭キャンペーンを行っています。

キャンペーンでは、ドライバーに啓発のチラシを配るなど安全運転を呼びかけています。



▲交通安全街頭キャンペーンの実施

7月15日(木)～24日(土) 夏の交通事故防止運動が実施されます！

「人も車も自転車も 安心・安全 埼玉県」

この時期は、児童・生徒の交通事故や、夏の開放感や暑さによる疲労などで交通事故が発生しやすくなります。

一人ひとりが交通ルールを守り、ゆとりを持った運転や交通を心がけ、事故のない安心・安全な杉戸町を目指しましょう！

【県運動重点】

- 子供と高齢者の交通事故防止
- 自転車の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶

【町運動重点】

- こまめな水分補給と休憩で交通事故予防

▼スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室の実施



※『スケアード・ストレイト（恐怖の直視）教育技法』とは、怖い思い、「ヒヤリ・ハット」する体験を通じて啓発効果を高める教育技法です。具体的には、スタントマンによるリアルな交通事故再現という手法を取り入れたものです。

自転車安全利用

～自転車は安全ルールを守って、楽しく乗ろう！～ 自転車安全利用五則

①自転車は、車道が原則、歩道は例外

- 車道では、まわりの車の動きに注意しましょう。

②車道は左側を通行

- 車道の左端に寄って走りましょう。

③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

- 自転車は歩道ではすぐに停止できる速度で走行し、歩行者の通行を妨げる場合は、一時停止しなければなりません。

④安全ルールを守る

- 飲酒運転・二人乗り・併進の禁止
自転車も「飲んだら乗らない」
- 夜間はライトを点灯
自転車の側面にも、反射材を付けましょう。
- 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
信号を守り、交差点では一時停止をして、左右の安全を確認しましょう。

⑤子どもはヘルメットを着用

- 保護者は13歳未満の子どもへのヘルメット着用を努めましょう。



▲高野台小学校 交通安全教室の様子



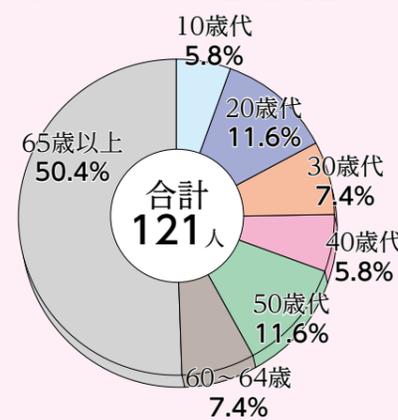
交通事故を防ごう

「事故のない 安心・安全な杉戸町へ」

交通事故は、誰にでも起こり得ること。一瞬の気のゆるみで、あなたも事故の加害者・被害者になってしまうかもしれません。悲惨な事故を起こさないためにも、今一度自分自身の交通マナーを見直しましょう。

問合せ ぐらし安全課 交通・防犯担当 内線 284

埼玉県内 年代別交通事故死者数



参考：埼玉県警察本部 交通事故月報（概数）

令和2年の交通事故発生状況

区分	令和2年	前年比
埼玉県	発生（件）	17,115 -4,244
	死者（人）	121 -8
杉戸町	発生（件）	108 -69
	死者（人）	1 0
	負傷者（人）	134 -95

◆交通死1事故を0に
昨年、県内では、交通事故により121名の方が亡くなっています。減少しているものの、全国ワースト7位となっています。
杉戸町では、昨年、1名の方が亡くなり、平成30年から交通死亡事故が連続で発生している状況です。
交通事故は、いつ起こるか分かりません。ちょっとした不注意で、交通事故の加害者や被害者にもなってしまいます。交通安全を防ぐためには、どうすれば良いのか、交通安全についてそれぞれの立場で考えてみましょう。

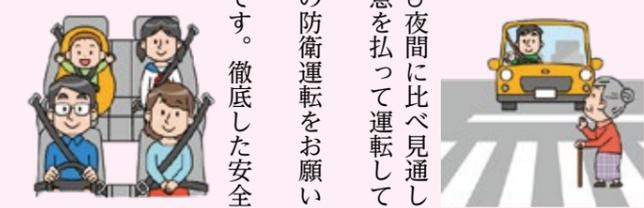
◆令和2年中の県内の交通事故発生状況

県では、令和2年中の人身事故件数、負傷者数は10年連続で減少し、ともに昭和42年以降最少となっています。

交通事故の特徴は、前方不注意が最も多く、また、高齢者による事故が増加傾向にあります。

◆運転者の方へ

- ・スピードダウンの励行をお願いいたします。
- ・高齢者や子どもを見かけたら、徹底した安全運転をお願いします。
- ・夕暮れ時間帯は、昼間及び夜間に比べ見通しが悪くなります。細心の注意を払って運転してください。
- ・譲り合う心で、運転者自身の防衛運転をお願いします。
- ・交差点付近は事故多発地帯です。徹底した安全運転をお願いします。
- ・運転席はもちろん、助手席や後部座席においてもシートベルト、チャイルドシートの正しい装着の徹底をお願いします。



◆歩行者の方へ

- ・道路横断は、必ず横断歩道、歩道橋を渡ってください。
- ・斜め横断は、特に危険ですので、絶対にやめましょう。
- ・無理な横断は、事故に直結します。左右の安全確認をお願いします。
- ・夕暮れ時から夜間に外出するときは、出来るだけ明るい服装や夜光反射材を着けてください。

